



たい焼き屋を開店した
福祉コンサル会社社長

おおつか
大塚

ゆきこ
由紀子さん

月数百万円と好調だ。

バブル時代、大型リソ

常1万円に満たないと言
われる福祉施設や作業所
に通っていた。「おいし
い」とほかほかの焼きた
って仕事をしたいと中小

障害者の雇用、起業

もっとつくりだせる！

知的障害や精神障害の
ある従業員4人が働く
「夢ある街のたい焼き屋
さん西調布店(東京都調
布市)を9月末にオーブ
ンした。4人は、月収が通
上げは予想の1.5倍の
会った。「知的障害者が
どの経営哲学や人間性に
1万円に届かない工賃し
かももらえないのはおかし
い。経営が悪いからだ」
の会社を03年設立した。
い。「仕事をさせたら障
害者が不安定になる」無
理して働かせることを親
は望んでいない」。そんな
言葉浴びせられたこと
も数え切れない。異端
を見るような「福祉」の
目。でも「お給料が上が
ってうれしい」「お給料で
旅行にいけた」と障害者
に言われるたびに間違っ
ていなかったと感じる。
大塚さんの考えが異端
ではなくなる日、障害者
は福祉から解放されるの
かもしれない。

てを子どもやお年寄りが
買っていく。「障害者が
働いているお店」の表示
トとして99年独立した。
2年目にヤマト運輸の小
倉昌男会長(故人)と出
会った。「知的障害者が
どの経営哲学や人間性に
1万円に届かない工賃し
かももらえないのはおかし
い。経営が悪いからだ」
の会社を03年設立した。
い。「仕事をさせたら障
害者が不安定になる」無
理して働かせることを親
は望んでいない」。そんな
言葉浴びせられたこと
も数え切れない。異端
を見るような「福祉」の
目。でも「お給料が上が
ってうれしい」「お給料で
旅行にいけた」と障害者
に言われるたびに間違っ
ていなかったと感じる。
大塚さんの考えが異端
ではなくなる日、障害者
は福祉から解放されるの
かもしれない。



岡山県出身。日大文理学部卒。ヤマト福祉財団障害者施設向けセミナーの講師を3年間務めた。福祉ベンチャーパートナーズ社社長。夫と1男。44歳。

文・野沢和弘
写真・丸山博